

周辺の都市化で枯れた松並木を市民全体で守る気運が高まり「松並木保存会」が結成。市民のふるさとづくりの起点となる。歴史的景観を生かしシンボルロード化事業を行う。



草加市は埼玉県南東部に東京都に接して位置し、市域を綾瀬川が貫流している。草加松原の松並木は一六八三年

の綾瀬川改修時に植えたと伝えられ、市民の間で緑のシンボルとして愛され、親しまれてきた。

しかし、近年の急激な都市化により枯れ死が相次いだため、昭和五十一年に市民による松並木保存会が結成され、積極的な補植や手入れが行われるようになった。

そしてこれを契機に、毎年九月に草加市民の一大イベントである草加市民まつりが催されて二五万人の人出で賑わっており、松並木一帯は草加のふるさとづくりとしての愛着と誇りを呼びおこす魅力ある都市空間となっている。

さらに昭和五八年には、県道の改良により松並木内の車道が閉鎖され遊歩道が完成したのに加え、六一年度末には街路環境整備が完了している。

データボード◎

- ① 埼玉県草加市
- ② 草加市役所 ☎0489-22-0151
- ③ 延長1.5km、幅員13.5m
- ④ 歴史的景観を生かすため、おもに自然材を使用
- ⑤ 草加市民まつり、早朝ラジオ体操、ちびっ子マラソン大会、朝市